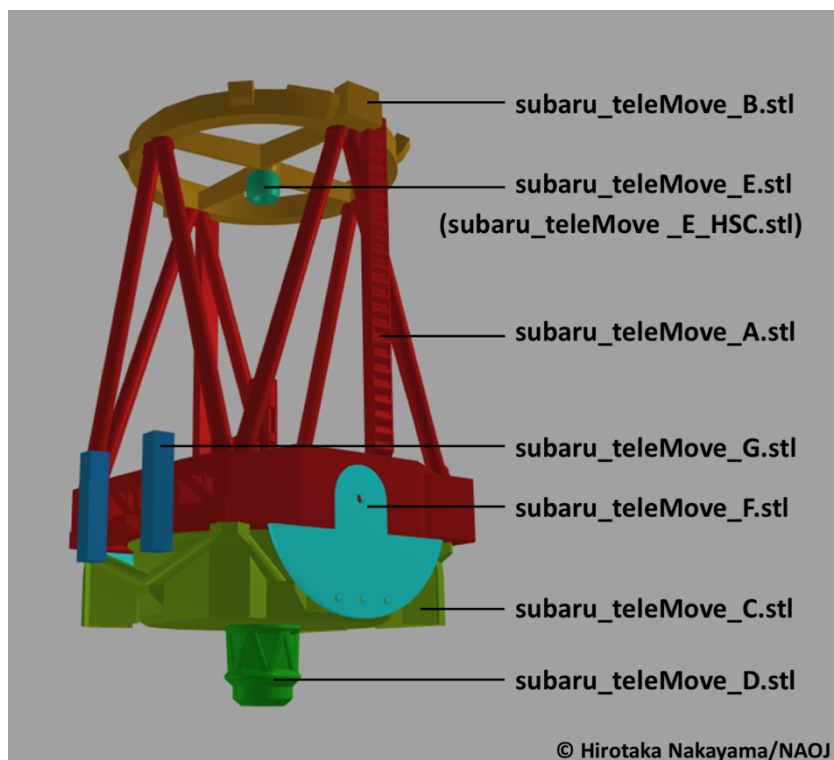


### 3D プリンター素材：すばる望遠鏡精密バージョン（望遠鏡可動部）



すばる望遠鏡精密バージョンの可動部はA～Gの7種類から成り立ちます。このうちF、Gの2パーツについては、それぞれ2つずつ造形します。

上の図では、一番上にある「トップリング」(B)の中央に副鏡(E)が取り付けられていますが、超広視野主焦点カメラハイパー・シュプリーム・カム(HSC: Hyper Supreme-Cam)を取り付けたい場合は“subaru\_teleMove\_E.stl”の代わりに“subaru\_teleMove\_E\_HSC.stl”を造形して下さい（両方造形すると、本物のすばる望遠鏡のように交換することができます）。

#### (1) 造形時の注意点

各パーツ（stl ファイル）は、サポート材なしで造形できるように設計されています。サポート材なしで造形して下さい。

サイズについては、造形用のソフトに読み込んだそのままのサイズで造形できるようにしてあります。もしあまりにも小さいもしくは大きい場合は、造形用のソフトで10倍や0.1倍など、スケールを変えてみて下さい。

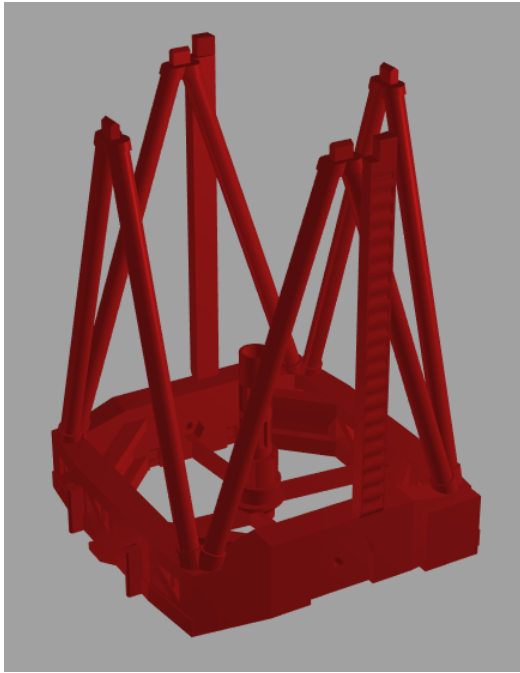
stl ファイルを開いた時、底面が必ずしも下になっていない場合があります。その場合は、画像を回転した上で造形して下さい。

#### (2) 組み立て時の注意点

組み立ては基本的に差し込むだけでよいように設計してありますが、実際に造形してみると、思うようにはまらない場合があります。特にバリ（不要な突起）が残っているとよくないので、カッターなどでバリ取りを行ってから組み立てて下さい。また、固定するには接着剤が必要となります。造形材料に応じた接着剤をご用意して下さい。

各パーツの造形時の向きは以下のようにします。

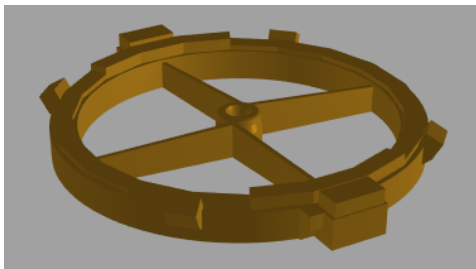
**a) subaru\_teleMove\_A.stl**



下から上へ造形していくように配置します。

---

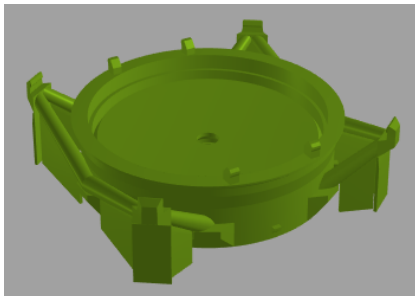
**b) subaru\_teleMove\_B.stl**



[トップリング] 下から上へ造形していくように配置します。

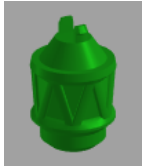
---

**c) subaru\_teleMove\_C.stl**



下から上へ造形していくように配置します。造形時のサポート用に板がついていますが、造形後に取り外して下さい。(手で簡単に取り外せます。)

**d) subaru\_teleMove\_D.stl**



[カセグレン焦点の観測装置] 下から上へ造形していくように配置します。

---

**e-1) subaru\_teleMove\_E.stl**



[副鏡] 下から上へ造形していくように配置します。

**e-2) subaru\_teleMove\_E\_HSC.stl**



[ハイパー・シュプリーム・カム(HSC)] 図の向きで造形して下さい。

---

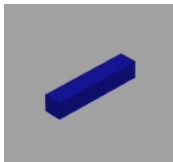
**f) subaru\_tele\_F.stl**



図のように平らな面が下になるように配置します。2つ造形して下さい。

---

**g) subaru\_tele\_G.stl**



この部品には穴が開いている面が一つあります。  
その面が下になるように配置します。  
2つ造形して下さい。